

新規事業評価調書

【道路事業】

一般県道 黒田庄多井田線

県土整備部

土木局 道路街路課

投資事業評価調書（新規）

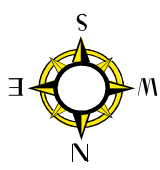
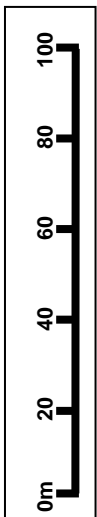
部課 室名	県土整備部土木局 道路街路課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	道路街路課長 田中 剛 (県道係長 金川 正敏)	内線	4362 (4376)
----------	-------------------	---------------------	-----------------------------	----	----------------

事業 種目	事業名	事業区間	総事業費	内用地 補償費	着手予定 年度	完了予定 年度
道路 事業	一般県道黒田庄 多井田線	西脇市 黒田庄町喜多	約 4.0億円	約0.1億円	平成26年度	平成 30 年度

事業目的	事業内容
<p>本路線は、加古川左岸を南北に走る幹線道路で、緊急輸送道路と避難場所を結ぶ地域の防災道路である。また、西脇市と旧黒田庄町の合併支援道路に位置付けられている。</p> <p>安全で円滑な交通を確保</p> <p>当該区間は幅員狭小、線形不良であるとともに、道路防災総点検の要対策箇所（落石・崩壊）もあることから2車線整備を行う。また、「日本のへそ東播磨日時計の丘公園」等への進入路となる交差点部は、視距も悪く危険なことから、交差点改良を行い、安全で円滑な通行を確保する。</p> <p>防災機能の強化</p> <p>災害時に避難場所となる小中学校等へのアクセス機能を強化する。</p> <p>市町合併を支援し、地域活性化・地域間交流を促進</p> <p>未改良区間の整備を行い、観光施設へのアクセス性の向上と合併市町間の交流・連携を強化する。</p>	<p>【延長】道路改築 350m</p> <p>【構造規格】第3種第4級</p> <p>【計画幅員】2車線 片側歩道 2.5m 車道 5.5m（全幅 9.5m）</p> <p>【計画交通量】 3,200 台/日(H42 予測)</p> <p>【現況交通量(H22 センサ)】</p> <p>自動車交通量：2,958 台/日 歩行者交通量：46 人/12h 自転車交通量：32 台/12h</p> <p>【負担割合】</p> <p>国 55%、県 45%</p>

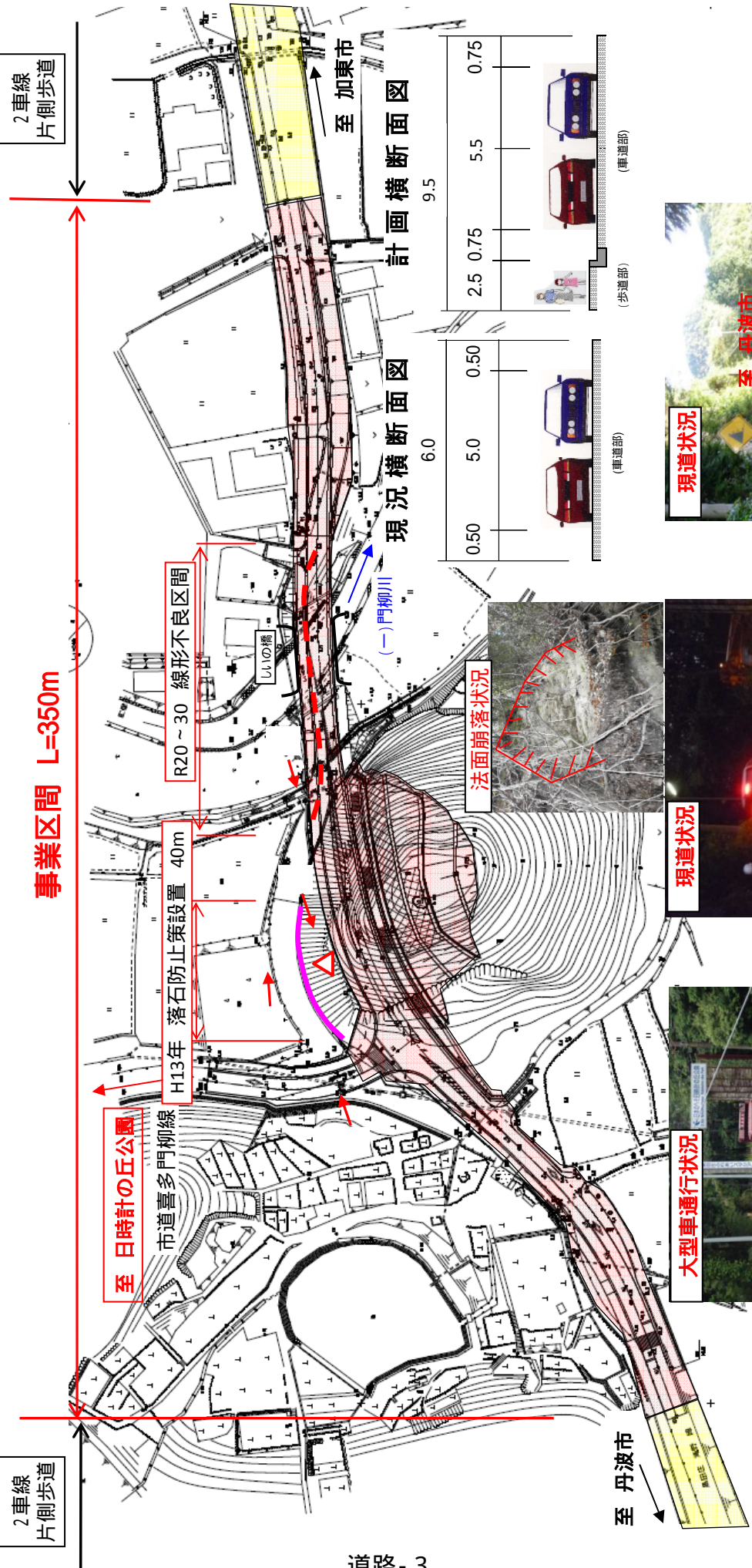
評価視点	評価結果の説明
(1)必要性 交通の円滑化 及び安全性の 向上	前後区間は2車線片側歩道で整備されているにもかかわらず、当該区間は未改良で、急カーブ（曲線半径30m程度）が連続し、幅員も狭小なことから、大型車の離合が困難である。 道路防災総点検の要対策箇所（落石・崩壊）があり、落石実績もあることから、早期に抜本的な対策が必要である。
防災機能の強化	災害時に避難場所となる黒田庄中学校や楠丘小学校等へのアクセス機能の強化を図る必要がある。
観光施設への アクセス性の 向上	当該区間は、日時計の丘公園やJAみのり特産開発センターなどの観光施設への玄関口となっているが、交差点部は、線形不良で見通しが悪く危険なことから、交差点改良を実施し利用者の安全性と利便性を向上させる必要がある。未改良区間の解消により、地域住民の安全で快適な交通確保とともに、観光施設等へのアクセス性の向上を図り、地域活性化を支援する。
(2)有効性 ・効率性 (事業執行環境)	費用便益比 B / C = 1 . 1 切土部の山林を、西脇市が先行して取得するなど、早期の用地買収が可能となっており、事業の早期完成が見込まれる。
(3)環境適合性	歩道部を透水性舗装とすることで、雨水の還元を図る。 発生する残土は、資源循環のため、周辺工事の盛土材として流用に努める。
(4)優先性	未改良区間の解消は、地域住民の安全で快適な交通確保とともに、観光施設等への玄関口の整備、地域づくりも支援するものである。 当該区間の前後は2車線整備済みの中、当該区間は未改良であるとともに、市が先行して用地を取得するなど事業執行環境が整っていることから、早期に整備する必要がある。

事業概要図

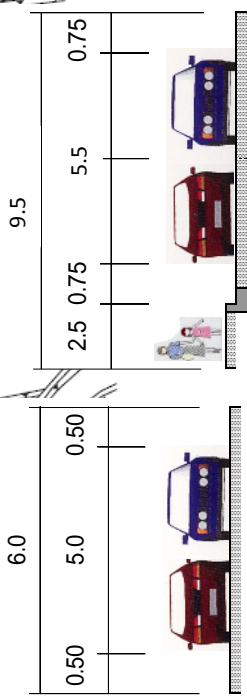


凡例

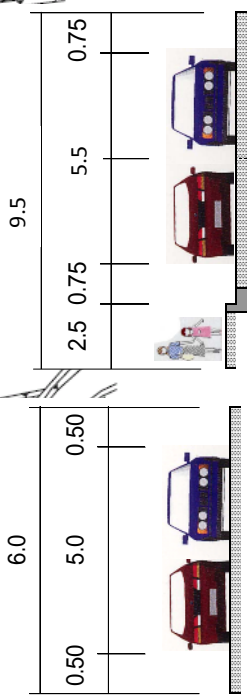
- 事業区間 (Red shaded area)
- 整備済区間 (Yellow shaded area)
- 防災要対策箇所 (Red triangle symbol)
- 線形不良区間 (Red dotted line)



現況横断面図



計画横断面図



法面崩落状況



現道状況



大型車通行状況

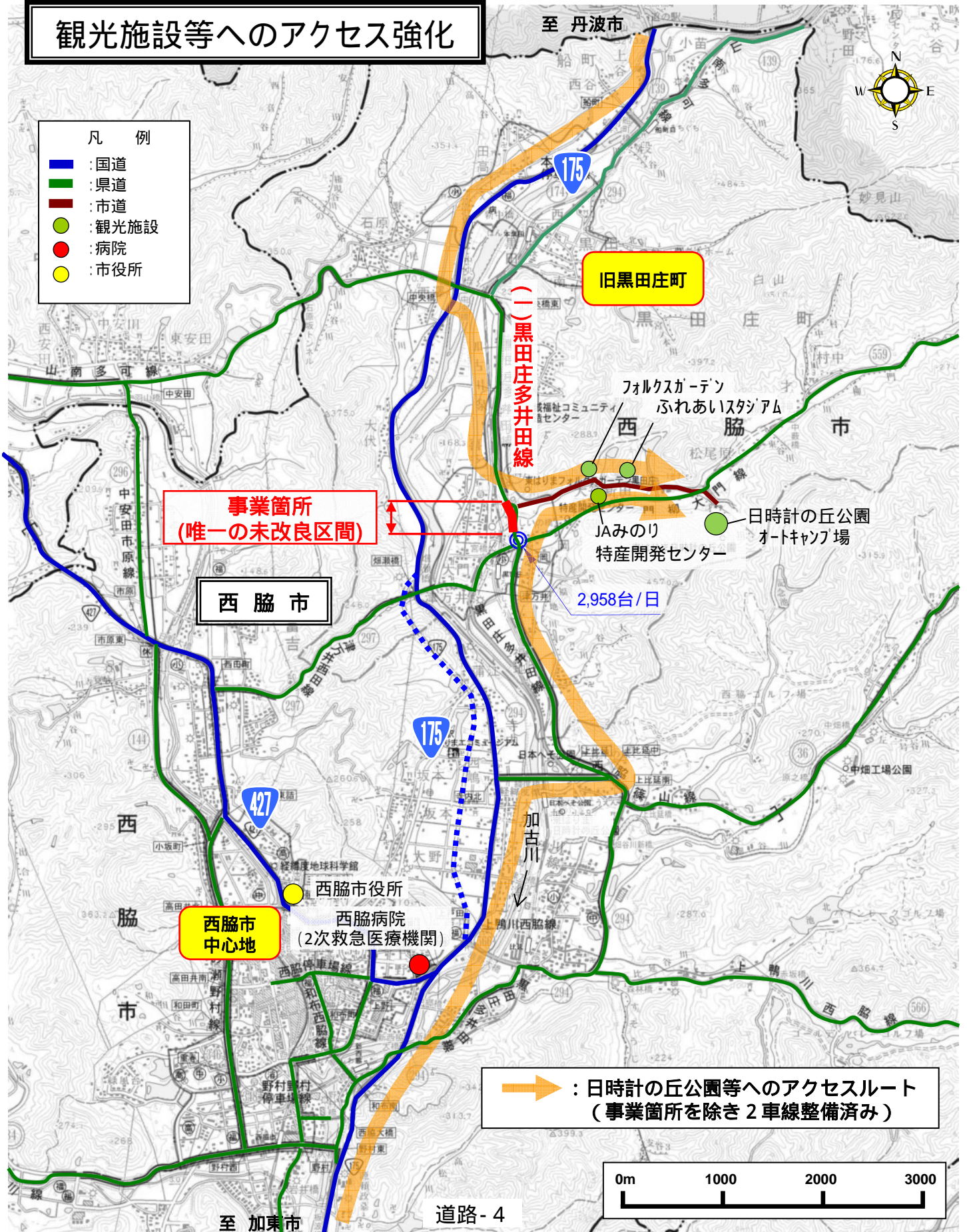


現道状況



観光施設等へのアクセス強化

- 凡 例
- : 国道
 - : 県道
 - : 市道
 - : 観光施設
 - : 病院
 - : 市役所



**事業箇所
(唯一の未改良区間)**

西脇市

**西脇市
中心地**

西脇市役所
西脇病院
(2次救急医療機関)

旧黒田庄町

(一)黒田庄多井田線

フォルクスガーデン
ふれあいスタジアム
JAみのり
特産開発センター

日時計の丘公園
オートキャンプ場

2,958台/日

**→ : 日時計の丘公園等へのアクセスルート
(事業箇所を除き2車線整備済み)**



至 加東市 道路-4

1. 実施工程表
当初計画

工種	年 度														
	H26			H27			H28			H29			H30		
調査・設計	■	■	■												
用地補償	■	■	■												
法面工事				■	■	■									
道路改良工事 (取合工)							■	■	■						■
橋梁工事										■	■	■	■	■	■

2. 事業効果について

(1) 費用対効果

便益(B)の項目

事業	B(便益)	算出方法
道路	走行時間短縮便益 目的地までにかかる時間が短くなることによる便益	整備無しの走行時間費用 - 整備有りの走行時間費用 走行時間費用： (交通量 × 走行時間) × 時間価値原単位 × 365日
	走行経費減少便益 交通の流れがスムーズになり燃費などが向上することによる便益	整備無しの走行経費 - 整備有りの走行経費 走行経費： (交通量 × 距離) × 走行経費原単位 × 365日
	交通事故減少便益 交通事故が減少することによる便益	整備無しの事故損失額 - 整備有りの事故損失額 事故損失額： (交通量 × 距離 × 交差点以外の事故損失原単位 + 交通量 × 主要交差点数 × 交差点部事故損失原単位)

費用便益比(B / C)算出根拠

事業	事業名	B(便益)		代表的な効果	C(費用)			B / C
		便益額 (百万円)			総費用 (百万円)	事業費 (百万円)	維持管理費 (百万円)	
道路	道路改築事業	走行時間短縮便益	436.1	計画交通： 3,200台/日(H42)	438.3	347.1	91.2	1.1
	一般県道 黒田庄多井田線 喜多工区	走行経費減少便益	28.8					
		交通事故減少便益	0					
		計	464.9					

(2) 費用対効果に含まれない主な効果

- 日時計の丘公園へのアクセス機能の向上による地域活性化
- 旧黒田庄町と西脇市街地を結ぶ地域間交流・連携の強化
- 避難場所となる小中学校等へのアクセス機能の向上による防災機能の強化

道路街路事業の効果

対象事業：道路事業（一）黒田庄多井田線 喜多工区

（１）費用対効果

効果項目（費用対効果の便益内容）	
走行時間短縮	目的地までの時間短縮
走行経費減少	走行速度の向上や走行距離の短縮による燃料費の節約等
交通事故減少	交通事故の減少による人的損害額、物的損害額及び渋滞による損失額等

（２）費用対効果に含まれない効果

印は当該事業効果の主な項目

評価の視点		効果項目	該当する事業内容等
安全・安心の確保	災害時	緊急医療・緊急物資の円滑な輸送の確保 （緊急輸送道路の整備、防災拠点・災害拠点病院へのアクセス道路の整備）	防災拠点（西脇市役所等）へのアクセス道路の整備
		救助・救援活動の支援 （災害時の通行不能や孤立集落の解消）	-
	平時	減災対策への取り組み （二線堤道路、避難路・避難場所としての機能、延焼防止機能の確保）	避難場所（黒田庄中学校等）へのアクセス道路の整備
		救急医療体制の支援	西脇市立西脇病院（第2次救急医療機関）へのアクセス機能の向上
		交通安全対策	楠丘小学校，黒田庄中学校の通学児童・生徒の安全性の向上
地域の活性化		地域間交流の促進	旧黒田庄町と西脇市中心部のアクセス機能の向上
		中心市街地の活性化	旧黒田庄町と西脇市中心部のアクセス機能の向上
		地域産業の活性化	J A みのみり特産開発センターへのアクセス機能の向上
		観光支援	日時計の丘公園等の観光施設へのアクセス機能の向上
		地域プロジェクト等の支援	日時計の丘公園等の観光施設へのアクセス機能の向上
円滑な交通体系の確保		公共交通機関利用の促進 交通結節点の機能の向上	J R 加古川線黒田庄駅へのアクセス機能の向上
地域の環境改善		沿道環境の改善 景観形成	歩道部を透水性舗装とし雨水を地下に還元

（３）地域からの要望状況等

要望状況等	市及び地元の要望が強く、当該区間の用地取得については、西脇市が先行して買収しており、事業の執行環境は整っている。
-------	--